

平成30年産

# 気仙沼・南三陸 稲作情報 第5号

平成30年6月21日発行

宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-n/kesennumanoukai.html>

## 食味向上へ向けた重点取組事項

- ・有効茎数が確保されたら、直ちに中干しを実施しましょう。

## 今後の管理のポイント

- ・斑点米カメムシ類の対策として、水田内の雑草防除を徹底しましょう。
- ・いもち病の発生に注意しましょう。

## 1 水稻生育調査ほの生育概況（移植）

- ・本吉ひとめぼれでは、草丈，茎数，葉数は平年をやや下回っています。6月中旬以降，低温，少照傾向となっており，生育はやや遅れています。
- ・志津川ひとめぼれ，だて正夢及び管内の生育も，やや遅れているものと見られます。

表1 水稻生育調査結果（6月20日）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月15日	19.3	29.8	345.5	7.3	38.2
	平年比・差	+1	97%	95%	81%	-0.7	91%
ひとめぼれ 南三陸町（志津川）	本 年	5月18日	17.2	32.8	471.3	7.8	36.0
だて正夢 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月16日	18.6	34.6	342.2	7.6	39.2

注1) 平年比・差は平成25年から平成29年までの5か年の平均値と本年調査結果の比較。

注2) 志津川ひとめぼれは本年度から，だて正夢は平成29年から調査開始のため平年値はなし。

## 2 気象の概況

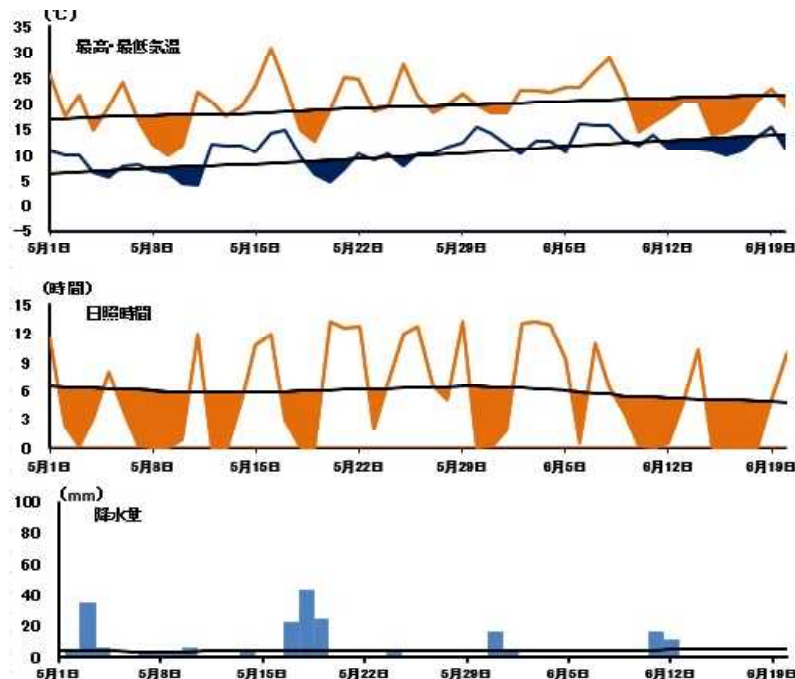


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：5月1日～6月19日）

宮城県を含む東北南部は、平年より2日早い6月10日ごろに梅雨入りしたとみられます（仙台管区气象台発表）。梅雨明けの平年は7月25日ごろです。

### 3 直播栽培普及展示ほの生育概況（鉄コーティング湛水直播）

- ・気仙沼市本吉町の直播栽培普及展示ほについて、6月20日調査では、草丈・茎数ともに平年を上回っていますが、葉数は-1.3葉少なくなっています。

表2 直播栽培普及展示ほ生育調査結果（6月20日）

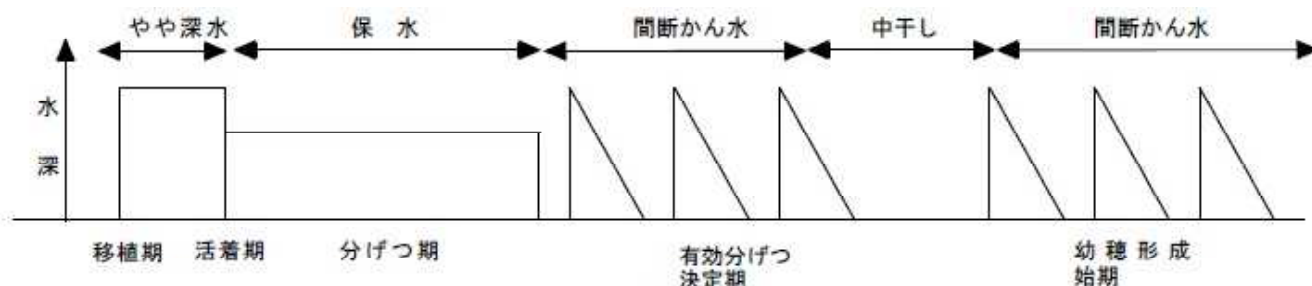
品 種 地区名		播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月15日	22.7	250.8	4.6	36.9
	平年比・差	+1	106%	120%	-1.3	97%

注）平年比・差（参考値）は平成26年から平成29年までの4か年の平均値と本年調査結果の比較。

### 4 今後の管理の留意点

#### 【水管理】

- ・水温の上昇に伴い土壌中の有機物の分解が進み、土壌からガスが発生する場合があります。ガスの発生が多いと根に障害が発生し、養分吸収を阻害するため、一時的な落水や間断かん水を行い、土壌中に酸素を供給しましょう。
- ・分けつの発生が進んでいないほ場では、引き続き2～3cm程度の浅水管理とし、分けつの発生を促進させましょう。



#### 【中干し】

- ・根の健全化、倒伏抑制、無効分けつ抑制のため、有効茎数（表3）が確保されたほ場では、直ちに中干しを行きましょう。
- ・中干しの期間は7～10日程度です。遅くとも幼穂形成期までに終了しましょう。
- ・中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡がつく程度の固さとしましょう。
- ・中干し終了後、急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、根を傷めます。走り水で飽水管理を行い、徐々に間断かん水に切り替え、根の活力維持に努めましょう。
- ・中干しが難しい水田では、水田の足跡に水がなくなったら入水し、表土が十分に湿ったら落水する飽水管理を行い、土壌を酸化的に保ち、稲体の活力を維持しましょう。

表3 適正籾数及び品質を確保するための生育目標値「ひとめぼれ」

	分けつ最盛期頃	最高分けつ期頃	幼穂形成期頃	減数分裂期頃
草丈・稈長(cm)	32～34	45～48	56～59	66～69
茎数・穂数(本/m <sup>2</sup> )	310～360	460～520	470～530	450～500
葉緑素計値	41～44	40～42	38～40	35～37

### 【雑草防除】

- 初期剤や初中期一発剤を散布したほ場でも残草があれば、雑草の種類や葉齢、稲の葉齢を確認し、適切な薬剤で適期に防除しましょう。
- ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せます。またシズイにもアカスジカスミカメが寄生・産卵します。雑草対策を徹底しましょう。
- 畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、カメムシ類の主な増殖源となるので、計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えましょう。

### 【病害虫防除】

#### ①いもち病

#### 発生予察第4号（平成30年6月6日、宮城県病害虫防除所）

病害虫名	発生時期 (発生開始期)	発生量
葉いもち	平年並 (7月第1半旬:7/1~7/5)	平年並

- 補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。まだ、残苗がほ場にある場合は、早急に処分しましょう。
- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤を防除適期に散布しましょう。
- 箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- 葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。病徴が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。
- 最新の葉いもち感染好適条件の出現状況は、県病害虫防除所ホームページで確認できます。  
(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>)



いもち病の病斑（進行型病斑）



いもち病の病斑（停滞型病斑）

#### ②イネドロオイムシ

#### 発生予察第4号（平成30年6月6日、宮城県病害虫防除所）

病害虫名	発生時期 (幼虫加害盛期)	発生量
イネドロオイムシ	平年並 (6月第5半旬:6/21~6/25)	やや少

- 6月の気象が曇雨天で経過すると成虫の産卵期間が長引き、幼虫の加害期間も長くなります。今後の気象経過に注意し、発生が長引く場合は追加防除を実施しましょう。
- 殺虫剤を育苗箱処理した水田でイネドロオイムシの発生が多い場合は、薬剤抵抗性が発達している可能性がありますので、普及センター等にご相談ください。

## 5 今後の気象

東北地方 1か月予報  
(6月23日から7月22日までの天候見通し)  
平成30年6月21日  
仙台管区气象台 発表

### <特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

### <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

### <気象経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	20	70
2週目	東北地方	10	30	60
3～4週目	東北地方	20	40	40

### <予報の対象期間>

- 1か月：6月23日(土)～7月22日(日)
- 1週目：6月23日(土)～6月29日(金)
- 2週目：6月30日(土)～7月6日(金)
- 3～4週目：7月7日(土)～7月20日(金)

4月1日～6月30日は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。

スローガン「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」

6月1日～8月31日は「農薬危害防止運動」の実施期間です。

- ・次回の水稻生育調査は7月2日(月)に行います。
- ・次号の「気仙沼・南三陸稲作情報」は7月上旬の発行を予定しています。